



葉山町は「ごみゼロ(ゼロ・ウェイスト)」を目指します

町長 小林 英二

このたび、葉山町は長期目標として「ごみゼロ(ゼロ・ウェイスト)」を目指す方針を固めました。

「ゼロ・ウェイスト」は、分別による資源化などを推進し、大規模な処理施設の建設に頼らず、ごみの焼却と埋め立てを段階的にゼロに近づけていこうとする政策です。

ごみ処理による様々な環境問題・社会問題が報じられる中、葉山町は来年一月に、日本で三番目の「ゼロ・ウェイスト宣言都市」となるべく、本格的な準備を進めていきます。

ゼロ・ウェイストは、皆様の意識改革なくしては成立しません。とはいえ、皆様に不可能な分別や減量をお願いするものではありません。鼻をかめばちり紙が出ますし、介護や育児をすれば紙おむつが出ます。それらを減らすことができなくとも、まずは、ほかの資源化できるものをきちんとより分けていくだけで、リサイクル率は格段に上がります。行政としても、皆様に少しでも負担なく分別と減量に取り組んでいただけ

るよう、シンプルで分かりやすいシステムを徹底研究し、きめ細やかなサポート体制を整えてまいります。

第一の目標として、五年後までに焼却ごみと埋立ごみの五十割削減を目指します。ごみに紛れ込んでしまっている紙類や布などの資源物をきちんと分別していけば、ごみの半減は十分に実現可能なレベルです。

ごみを減らせば減らすほど、町は身軽になります。葉山町は現在、ごみの収集と処理のために年間約十億円(一般会計の十割以上)を投入しています。ごみを減らし、処理費をスリム化すれば、予算を福祉や教育の充実に向けていくことができます。

うつくしく、住みやすい町、葉山。ゼロ・ウェイストへの挑戦は、私たちの意識を高め、安心して暮らすことのできる環境を確保し、より有意義な財政計画へと導いてくれます。私たちの未来、そして私たちの子孫のために、ともにゼロ・ウェイストに取り組み、世界に誇る「環境先進地・葉山」を実現していきましょう。

※より詳細な資料を町ホームページで公開しています。

<http://www.town.hayama.lg.jp/topics2/topics01.html>

「ゼロ・ウェイスト」って何？

「ゼロ (zero)」=ゼロ

「ウェイスト (waste)」=ごみ、無駄、浪費

→「ごみ・無駄・浪費をゼロにする」の意味です。

- オーストラリア発のごみ減量化政策・・・世界各地でごみの大幅減量に成功する自治体が続出し、日本でも徳島県の上勝町(2003年)、福岡県の大木町(2008年)が宣言しています。
- 「処理施設を持つ代わりに、ごみを減らす」「ごみを減らせば、施設は要らない」・・・高額な施設建設にお金をかけず、ソフト面での減量化施策に重点を置きます。
- 合言葉は「4つのL」・・・「Local(地域主導)」「Low Cost(低コスト)」「Low Impact(環境負荷が低い)」「Low Tech(最新技術に頼らない)」が指針です。

第1回 ゼロ・ウェイストを考える会 開催します

- ◎日時 八月二三日(土) 十四時～十五時三〇分
 - ◎場所 福祉文化会館 大会議室
 - ◎内容
 - 「ゼロ・ウェイストへの挑戦」趣旨説明
 - 町のごみの現状報告
 - ゼロ・ウェイスト宣言都市事例紹介
- ※事前の申し込みは必要ありません。
- 問合せ 環境課 ☎内線四五―

町長自ら
ご説明いたします
ぜひご参加
ください!

運動習慣で毎日健康をからむ

健康増進施設利用券交付事業

中高年の皆さんが健康を増進させ生活習慣を改善できるように、健康増進施設を利用する際の利用料の一部を補助する事業を今月から実施します。

問合せ 保健センター

☎八七五―一二七五

昨年十一月に実施した特定健診等に関する意識調査では、ご自分の生活習慣を改善したいと意識し、日ごろから健康のために食事、栄養、そして運動に配慮している人が多くいることが分かりました。

そこで、町では、従来から実施している健康教室等に加え、新規に「葉山町健康増進施設利用券交付事業」を実施します。

対象

- ・ 四月一日現在六五歳以上で、運動できる健康状態の人（生活習慣病等で医療機関に通院中の人は、運動の可否を医師と相談のうえ申請してください）

- ・ 四十歳以上で、特定健診の結果、特定保健指導の対象となった人

申請・交付方法 保健センターで申請書を記入した後に、保健師等の

助成券をもらって利用するまで

保健センターで

申請書を提出して保健師等と面談（毎年）

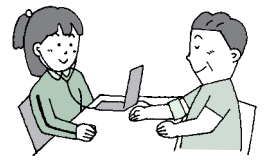
助成が決定したらその場で1年分の助成券をもらう



施設で

施設を決める

運動健康相談をしてプログラムを決める



※毎回利用料を払う

健康づくりスタート



面談（健康チェック）を受け、助成が決定したら、その場で助成券を交付します。

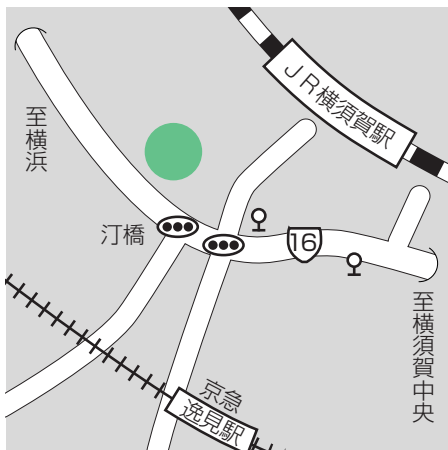
助成券 一枚三百円分の助成券を一括交付

※「すこやかん」では毎週運動ができ、「逗子スポーツクラブ」では3か月程度のレッスンプログラムでは終了できるように、1年度四八枚（今年度は上限三二枚）を上限として交付します。枚数は、申請月により変更します

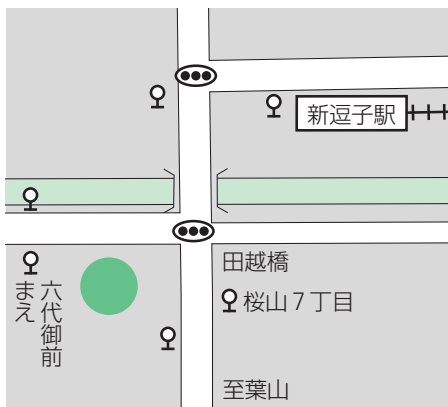
※毎年度申請をしてください。

対象施設

①横須賀市健康増進センター「すこやかん」
横須賀市西逸見町
1-38-11
☎822-4411
開館時間：9時30分～21時30分
休館日：年末年始・臨時休館
駐車場：有料（4時間まで300円、以後30分200円）1時間以内無料
運動健康相談：平日9時30分～12時（電話予約可）



②(株)逗子スポーツクラブ
逗子市桜山8-1-41
☎873-1499
利用日時：プログラムによって異なる
駐車場：無料
オリエンテーション：要電話予約



施設の利用方法

施設名	利用料	施設の内容等
①横須賀市「すこやかん」	1回700円 〔助成券1枚 +現金400円〕	・運動健康相談 ・スイミングプール ・リラクゼーションプール ・アクアビクスプール ・トレーニングルーム ・フィットネスルーム ※好きな時間に自由に利用可能。 ※有料・無料レッスンプログラムあり。 週1継続タイプ
②(株)逗子スポーツクラブ	1レッスン 1,650円 〔助成券3枚 +現金750円〕	3か月程度で運動効果をあげるレッスンプログラム。 個人にあったプログラムを3種類（水中運動・生き生きはつらつ体操・フィットネス）から選定し、初回と最終回にボディースキャンを利用した運動効果とアドバイスをを行う。 3か月集中タイプ